

のびない。のばさない。
雑草の管理をラクにします。



グラスショート散布42日後の抑草効果
左:処理区
右:無処理区
1997年5月25日刈取り、6月5日散布、
7月17日撮影
新潟県糸魚川市

グラスショートの特長

雑草の生育を抑制し
草刈り作業を軽減。

雑草の草丈を抑制、または一部枯死させますので、重労働で危険を伴うのり面（傾斜地）の草刈り作業の回数や管理労力の軽減ができます。

畦畔、農道、水路等の
土壌崩壊を防ぎ、景観を保持。

非選択性除草剤のように雑草を完全枯殺する作用とは異なり、雑草の草丈を抑制する作用のため、裸地化による土壌流亡を防ぎ、景観を保持します。

畦畔から水田への
侵入雑草を抑草。

キシウスズメノヒエ、イボクサ等の畦畔からの侵入雑草やクズ等のつる性雑草に対しても強い抑草効果、枯殺効果を示します。

クミカ抑草剤 水田畦畔・非農耕地用



グラスショート[®]液剤

グラスショット[®]液剤

有効成分：
ビスピリバクナトリウム塩…3.0%
人畜毒性：普通物(毒劇物に該当しないものを指すいう通称)



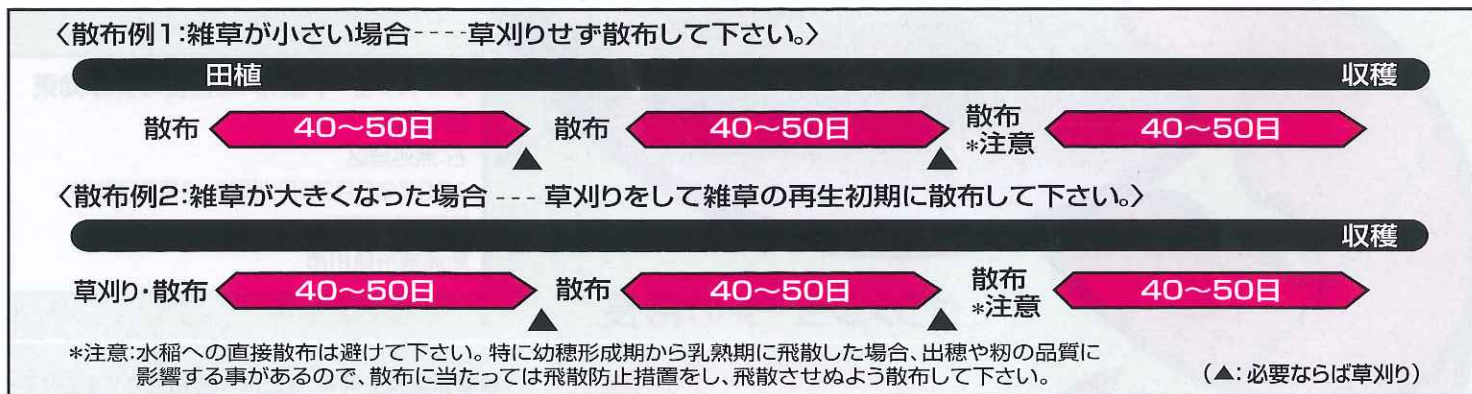
■適用場所・雑草と使用方法(抑草剤として)

作物名	適用場所	適用雑草名	使用目的	使用時期	10a当りの使用量		本剤の使用回数	使用方法	ビスピリバクナトリウム塩を含む農薬の総使用回数
					薬量	希釈水量			
水田作物 (水田畦畔)	水田畦畔	一年生雑草 多年生雑草	草丈抑制による刈り取り軽減	雑草生育初期 (草丈10cm)及び 草刈り後10~20日の 雑草再生期 (ただし、収穫前日まで)	300~ 500ml	通常散布 50~100ℓ 少量散布 25ℓ	3回 以内	雑草茎葉散布	3回以内
樹木等	公園、庭園、 堤とう、駐車場、 運動場、宅地等			雑草生育期 又は刈取後 (草丈30~50cm)	500~ 1000ml	通常散布 100~200ℓ 少量散布 25~50ℓ		植栽地を除く 樹木等の周辺地に 雑草茎葉散布	

■適用雑草と使用方法(除草剤として)

作物名	適用場所	適用雑草名	使用時期	使用量		本剤の使用回数	使用方法	ビスピリバクナトリウム塩を含む農薬の総使用回数	
				薬量	希釈水量				
水田作物 (水田畦畔)	水田畦畔	イボクサ	生育期ただし、 収穫前日まで	300~500ml/10a	50~100 ℓ/10a	3回 以内	雑草茎葉散布	3回以内	
樹木等	公園 庭園 堤とう 駐車場 運動場 宅地等	クズ	生育期	500~1000 ml/10a	100~200 ℓ/10a		つる径 使用量(ml/株) 2.0cm以下 0.5 2.1~3.0cm 1.0 3.1~4.0cm 1.5 4.1~5.0cm 2.0 5.1cm以上 適宜増量		植栽地を除く 樹木等の周辺地に 雑草茎葉散布
			生育初期 (5~6月)						原液
林木	林地								

■抑草剤としての上手な使い方 草刈りの回数が減ります。また、田植後でも安心して使用できます。



- チガヤ等の多年生イネ科雑草主体の場所に散布して下さい。
- オシバ、カモジグサ、カラスムギ等の一年生イネ科雑草主体の場所では抑草期間が短くなります。
- 「霧なしノズル」を用いて雑草の茎葉部が十分濡れるように散布して下さい。「通常ノズル」の場合、ドリフト防止のカバーを使用し、水稲や他の作物へドリフトしないよう注意して下さい。

⚠ 使用上の注意事項

- 展着剤の加用は必要ありません。
- 雑草の生育期に、薬液が雑草の茎葉全体に均一にかかるように散布して下さい。雑草が大きくなりすぎると効果が低減するので、時期を失しないように散布して下さい。
- 公園、堤とう等において、体系で処理する場合、2回目の処理は1回目処理後、40~50日後に実施して下さい。
- 散布後6時間以内の降雨は効果を減らすことがあるので、天候を見極めてから散布して下さい。
- 低温下では効果の発現が遅れることがあります。
- 雑草の種類によっては効果が変動する場合があります。
- クズのつる注入処理をする場合は、処理位置は、株元から50cm以内とし、刃物などで外皮を木質部が見えるくらいに剥皮して、薬液が十分付着するように滴下して下さい。株頭が大きく、複数のつるが出ているものは、すべてのつるに薬液を処理して下さい。
- 水稲に直接かからないように散布して下さい。
- 幼穂形成期から乳熟期の水稲に飛散した場合、出穂、籾の品質に影響することがありますので、散布に当たっては飛散防止ノズルを使用して下さい。
- 水稲以外の作物及び有用植栽木の茎葉部へ薬液が飛散した場合、葉の黄化、落葉、枯死等の被害が発生するので、田畑、果樹園等の周辺では流入、飛散に十分注意して下さい。
- 少量散布は専用ノズルを使用して下さい。
- 散布や調製に使用した器具・ホース等は水洗い、水通しをしてください。
- 公園、堤とう等を使用する場合、特に以下のことに注意して下さい。
 - ・水源池、養殖池等に本剤が飛散、流入しないよう十分注意して下さい。
 - ・散布器具、容器の洗浄水及び残りの薬液は河川等に流さず、容器等は、環境に影響を与えないよう適切に処理して下さい。
- 本剤の使用に当たっては使用量、使用時期、使用方法などを、誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。
- 本剤は水産動物(魚類)に影響を及ぼすおそれがあるので、養魚田周辺での使用には十分注意して下さい。

本資料は平成26年6月現在の知見に基づき作成しております。

●使用前にはラベルをよく読んでください。 ●ラベルの記載以外には使用しないでください。 ●本剤は小児の手の届く所には置かないでください。 ●防除日誌に記帳しましょう。